

身延町の動物

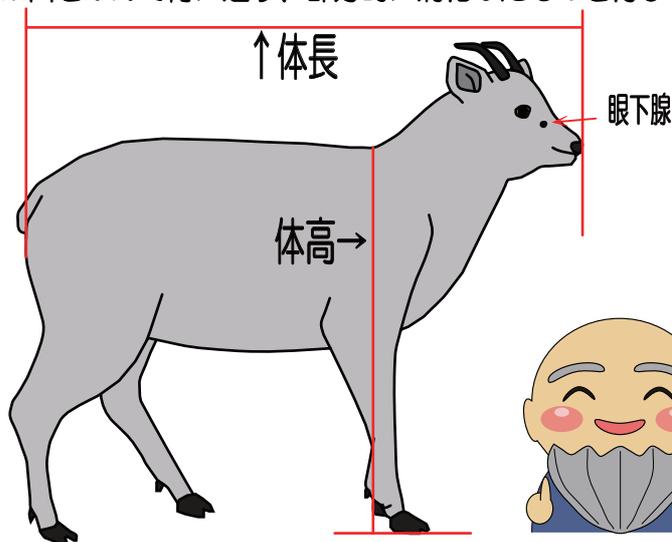
身延町は地形的に静岡方面の温暖域から甲府盆地の寒冷地への境となります。植物はほとんどが落葉広葉樹で、暖地性の植物もその北限として見ることができます。今回はそうした豊かな森林に生息する動物の中で、天然記念物などに指定されている種を中心に紹介します。

● 特別天然記念物 カモシカ

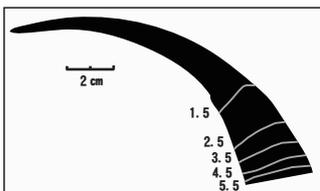
カモシカ（正式名：ニホンカモシカ）は日本の本州、四国、九州のみに生息する固有種で、ウシ科ヤギ亜科の大型哺乳類です。ウシやウマ、ヒツジなどと同じくひづめを持つ「有蹄類」に属します。体長約1m、体高70cmで、体毛は灰褐色、オスメスとも2本の角を持っています。幼獣は5、6月に生まれ、1年は母親と生活します。寿命は15年ほどですが20年以上の個体も発見されています。落葉広葉樹や常緑針葉樹の葉やその下草、ササ類を採食し、落葉期は冬芽を枝先ごと食べます。岩場や崖のような急斜面の森林を好んで生息し、朝夕の採食時間以外は、座り込んで休息しながら反芻（※）している姿も見られます。シカのように群れで行動することはなく、山奥で単独で行動し、一夫一妻制をとるなど比較的原始的な生態をとどめているため、生物学的に貴重な種とされています。



※餌をかんで胃に送り、部分的に消化したものを再び口に戻して繰り返しかむことで餌をすりつぶして消化すること。



眼下腺から出る分泌物を草木や岩にこすりつけて、自分の縄張りを守るとされており、目玉のように見えるから、たまに「四ツ目のカモシカ出現！」なんてテレビなどで報じられることもあるんじゃないか。カモシカの角はシカと違って枝分かれや、生え変わりはせん。名前の由来は険しい山岳（かま）に住むこと、毛氈（もうせん、かむしろ、かも）にカモシカの毛を織ったこと、食用とされていた頃は、その味が鴨（かも）のように美味だったからなど諸説あるようじゃ。



カモシカの角には樹木のように、一年ごとに角輪という溝ができます。最初の角輪は一歳の冬(1.5歳)に形成されるので、角輪の本数に1を足した数字が年齢となり、左図の場合は、6.5歳になります。

○ カモシカの保護

かつてカモシカは狩猟の対象であり、個体数が著しく減少して絶滅が危ぶまれたため、1925年に狩猟獣から除外され、1955年に文化財保護法に基づき特別天然記念物に指定されました。そうした保護策により個体数が回復し、生息域が広がるに伴い、1970年代以降、カモシカによる林業被害が問題になりました。このような状況を踏まえて、カモシカの生息環境の保全と個体群の安定的存続を図るとともに、状況に応じて個体数の適切な管理を行うため、現在全国に13か所の保護地域が設定されています。そのうち山梨県・長野県・静岡県にまたがる「南アルプスカモシカ保護地域」の中に身延町大城が入っています。

近年、カモシカが人家の近くで目撃されることが増えています。深山にいるはずのカモシカに突然出くわすと驚かれると思いますが、カモシカは人に危害を与える動物ではありません。町内でカモシカを見かけたら、次のような対応をお願いします。（※問合せ先：身延町教育委員会生涯学習課 ☎0556-20-3017）

カモシカの状態	対応事項
①元気な場合	<ul style="list-style-type: none">・帰巢本能がありますので、自然に山へ帰ります。帰り道をふさがずに、静かに見守ってください。・犬に吠えられると興奮するので、近づけないようにしてください。・原則、保護(捕獲)はできませんが、交通安全上の問題がある場合や、自力で山へ戻ることができないような場合は、保護を検討しますので生涯学習課に連絡してください。
②ケガや病気で動けない場合	<ul style="list-style-type: none">・動かさずに速やかに生涯学習課に連絡してください。・人に感染する病気にかかっている場合がありますので、決して触れないでください。やむを得ずカモシカに触れるときは、手袋・マスク等を必ず着用してください。・民間の動物病院には持ち込まないでください。
③死亡している場合	<ul style="list-style-type: none">・現地で死亡状況を確認しますので、動かさずに速やかに生涯学習課に連絡してください。
④子どものカモシカのみの場合	<ul style="list-style-type: none">・たいてい親が近くにおり、人に警戒して姿を見せないものと考えられます。接近すると、突然親が威嚇してくる場合もありますので、近づかないでください。・幼獣は一度保護(捕獲)してしまうと野生への復帰が困難になります。幼獣を見かけても触れずに立ち去ってください。

② カモシカが人家の近くで見られるのは、生息地での餌不足が原因と言われておるんじゃ。シカが増えすぎてカモシカの餌となる森林の下草などを食べてしまっているそうじゃよ。困ったものよのう・・・。



● 町の鳥 ブッポウソウ

ブッポウソウは東南アジア方面に生息し、日本へは夏鳥として5月頃に飛来し、繁殖が終わると9月頃に南方へ帰っていきます。体は美しい青緑色で、頭から首にかけては藍黒色、背中は濃い青緑色、翼の中央には青白色の紋があり、くちばしと足は赤く、遠くからでも見分けることができます。身延山久遠寺周辺は全国有数の飛来生息地として、宮城県高原町狭野神社・岐阜県美濃市州原神社・長野県木曾町若宮八幡社の三カ所とともに国の天然記念物に指定されましたが、著しい個体数の減少により近年は繁殖が途絶えています。



ブッポウソウについて詳しく知りたい人は左のQRコードから教えてもくじい。シリーズの③番(右の資料)をチェックじゃ。

このミニブックは「身延町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で作成したものです。

教えて！もくじい。シリーズ③

町の鳥 ブッポウソウ

ブッポウソウはユーラシア大陸の東端及び東南アジアの島々を中心に、インドから日本、オーストラリアにかけて広く分布します。日本へは夏鳥として東南アジアより飛来して繁殖します。クチバシの先端から尾羽の先端までの長さは約30cm、翼を広げた長さは約60cmあります。頭は黒褐色、体は青緑色、クチバシと脚は朱色、その美しい姿から“森の宝石”とも呼ばれます。近年、全国的に個体数が減っており、環境省や山梨県のレッドデータブック(※)では絶滅危惧種に指定されています。
※絶滅のおそれのある動物を世界的規模でリスト化し、その分布や生息状況を詳説した資料集



しよれつがきりばね 初列風切羽 (実寸)



ハトより少し小さい鳥で、飛ぶと羽の白い模様が目立つんじゃ。写真のブッポウソウは何をくわえておるかな？

—もくじい、は、身延町立木道の聖徳美苑のオリジナルキャラクター—

①



身延山久遠寺では2016年にスギの樹洞でブッポウソウが営巢したんじゃが、地上35mの高所にも関わらずテンの侵入を受けて繁殖に失敗してしまっただんじゃ。以来、身延山への飛来は途絶えてしまっておるが、身延町内の他所の山林では2~3つがいの生息が確認されておる。これは山梨県でもとても貴重な存在なんじゃ。

身延町では巣箱の設置など15年以上保護活動が続けておるが、ブッポウソウの餌となる昆虫が減っておるせいか、なかなか繁殖に成功しておらんのだんじゃ。町の鳥ブッポウソウを復活させるために、何が出来るかみんなにも考えてほしいのう……。



←巣箱設置作業のようす
テンやヘビなどの捕食者が地上

から侵入しないようにトタンを巻くとともに、まわりに横枝がない場所を選んで設置しています。

③

○ 身延山周辺で見られる野鳥

1	キジ	17	コゲラ	33	ウグイス
2	カルガモ	18	アカゲラ	34	エナガ
3	キジバト	19	アオゲラ	35	メジロ
4	アオバト	20	サンショウクイ	36	ムクドリ
5	ホトトギス	21	サンコウチョウ	37	カワガラス
6	ツツドリ	22	モズ	38	コサメビタキ
7	アマツバメ	23	カケス	39	キビタキ
8	ヒメアマツバメ	24	ハシボソガラス	40	オオルリ
9	ハチクマ	25	ハシブトガラス	41	スズメ
10	トビ	26	ヤマガラ	42	キセキレイ
11	オオタカ	27	ヒガラ	43	セグロセキレイ
12	サシバ	28	シジュウカラ	44	カワラヒワ
13	ノスリ	29	ツバメ	45	イカル
14	クオタカ	30	コシアカツバメ	46	ホオジロ
15	アオバズク	31	イワツバメ	47	コジュケイ
16	アカショウビン	32	ヒヨドリ	48	ガビチョウ

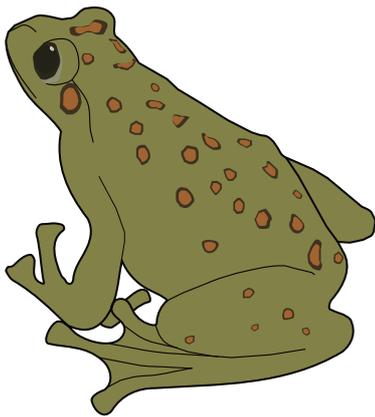
	ブッポウソウの捕食者となり得る種
	ブッポウソウの巣穴の提供者となり得る種

ブッポウソウの生息調査の際に確認された野鳥たちじゃよ。それぞれ生態を調べてみると、地域の自然環境の特色が見えてくるかもしれんわ。ちなみに、アカショウビンはブッポウソウと同じ東南アジアから渡ってくる夏鳥で、火の鳥とも呼ばれるとてもきれいな鳥じゃよ。



アカショウビン

● 町指定天然記念物 モリアオガエル



アオガエル科、体長7~9cm、背面に赤褐色の不規則な斑紋があり、^{あとあし}後肢が比較的長く、^{きゅうばん}指の吸盤もよく発達しています。日本の固有種で本州、四国、九州の山地に分布し、池の上にある植物に産卵します。梅雨期になると雌雄つがいの成体が集まって来て、一斉に繁殖を始めます。白色泡状の^{らんがい}卵塊は直径15cm以上になり、池や水溜りの上の木の葉や小枝にぶら下げられます。

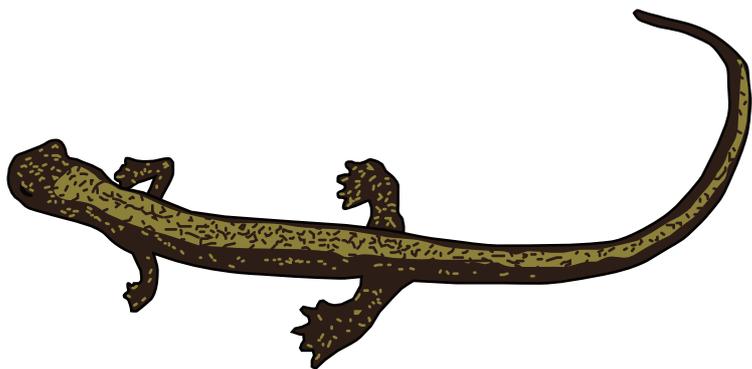
一つの卵塊には300~500個の卵があり、中で^{るか}孵化した幼生は水中に落ちてオタマジャクシの生活を送ります。変態を終えてカエルになると多くは付近の山などに移動して生活します。

本町では近年、かつて生息地であった場所の木がなくなるなどして、生息範囲が限られてきてしまっています。



モリアオガエルの卵塊

● 県自然記念物 ハコネサンショウウオ



ハコネサンショウウオは標高500~2500mの山地の溪流^{けいりゅう}に生息します。体は細長く100~180mmくらいで、尾は体の半分以上あります。他のサンショウウオは未成熟の時に水中の酸素をとるためのエラがあり、成長すると肺で呼吸することが普通ですが、ハコネサンショウウオ

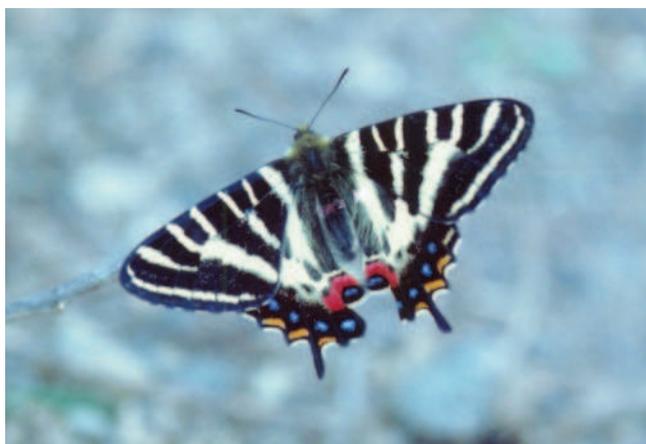
は成体になっても肺がなく、皮膚や粘膜^{ねんまく}で呼吸します。乾燥に弱く、豊富な酸素を含むきれいな水辺にしか生息できないため、豊かな森林と溪流保全の重要な指標となる種です。

本町栃代地区、栃代川と犬吠沢との合流地点から栃代橋までの間の河原^{とじろ}は、昭和48年に「栃代川上流のハコネサンショウウオ及び生息地」として県の自然記念物に指定されました。



栃代川

● 町指定天然記念物 ギフチョウ



ギフチョウは固有種で本州にのみ生息します。身体構造に原始的な特徴をとどめ、アゲハチョウの祖先種の姿を現在に伝える貴重なチョウです。成虫は年一回、その地域の桜の開花期とほぼ同時に現れ、黒と黄色の縞模様^{しまもよう}の翅^{はね}に赤と青の斑点を装った美しい姿から「春の女神」とも呼ばれています。山梨県内では身延町を北限として県南部の限られた地域に生息していますが、乱獲などにより減少し、

「山梨県レッドデータブック」でも絶滅危惧種に指定されています。

ギフチョウの生育環境としては、幼虫が食草としているカンアオイ類が自生していることや成虫の吸蜜植物となるカタクリや桜類が自生している雑木林があることなどが挙げられます。しかし、その生育



カンアオイ



カタクリの花

環境を踏み荒らし、カタクリなどを観賞用に採取したり、ギフチョウを売買などの目的で捕獲したりする人が増えてきています。

後の世代へ「春の女神」を伝えるため、今後は捕獲することなく、自然の中でのギフチョウの営みを、そっと見守ってほしいのう。



● 町の昆虫 ホタル

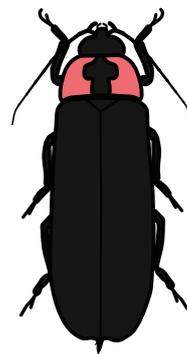


平成26年（2014）10月、身延町は合併10周年を記念し、町のシンボルとなる木、花、鳥、昆虫を制定しました。この中で町の昆虫に選ばれたのがホタルです。身延町一色地区はゲンジボタルの自然発生地として県内外に知られており、5月中旬から6月上旬にかけてホタルがほのかな光を発しながら乱舞する、とても幻想的な風景を観賞できます。

ゲンジボタルの成虫は体長15mm前後で、日本のホタル類の中では大きな種類です。体色は黒色ですが、前胸部がピンク色で真ん中に十字架形の黒い模様があります。尾部に淡い黄緑色の発光器官があります。成虫は夜に活動し、発光により他の個体と通信をはかります。一般的にオスの方が運動性に優れ、飛び回りながらメスを探します。メスは草むらでじっとしていますが、発光によりパートナーを見つけたオスは草むらのメスに向かって急降下し交尾を行います。その様がまるで炎（ほのお）が垂れるようであることから、この虫を“火垂る”→ホタルと言うようになったとされています。

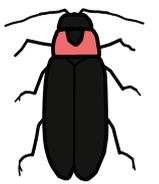
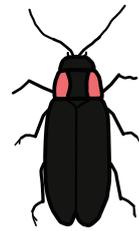


ホタルは一般的には漢字で螢と書くんじゃが、昔の字は“螢”、つまり二つ並んだ火をホタルが発光しながら飛び交う姿にたとえた漢字なんじゃよ。



ゲンジボタル

ハイケボタル



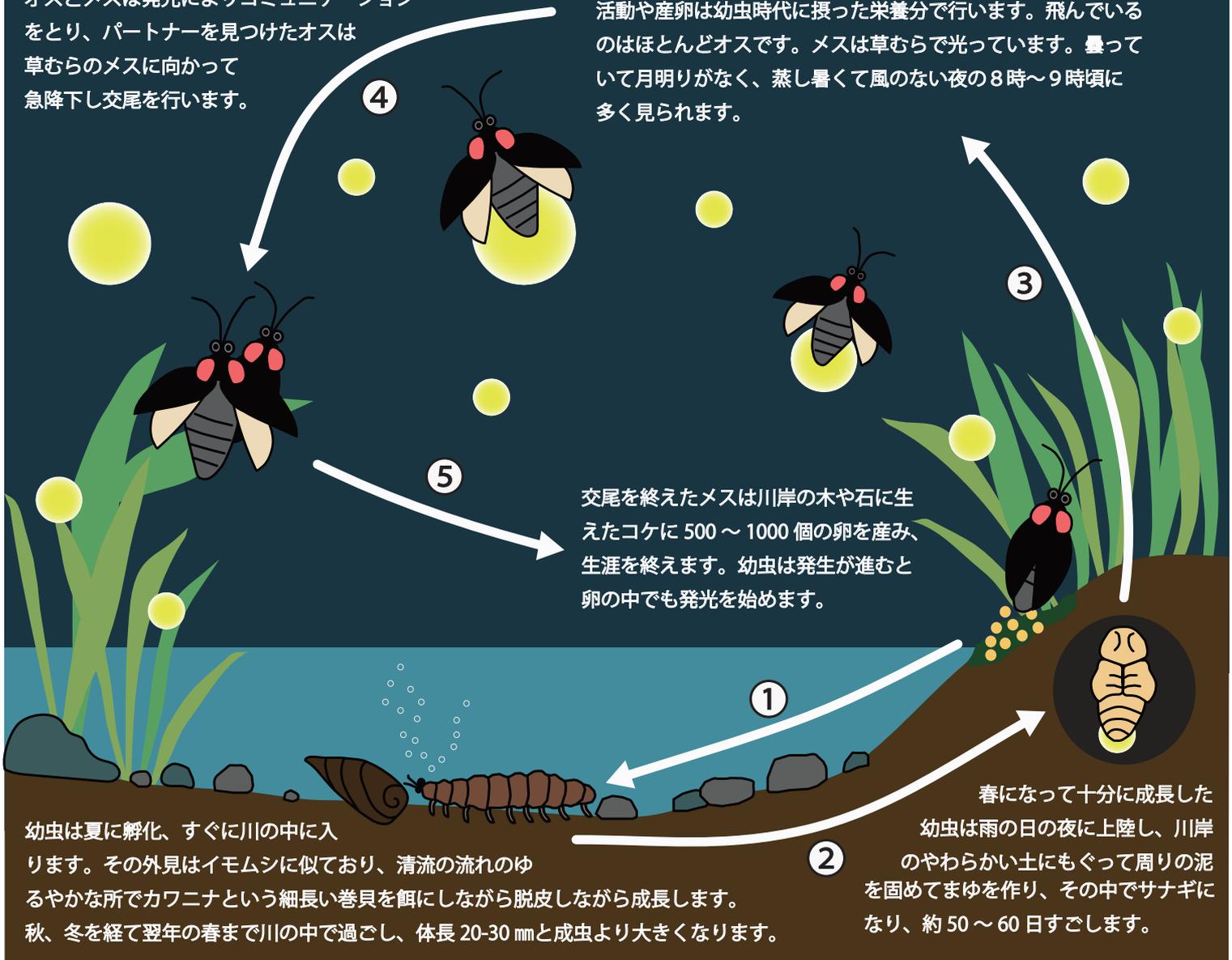
ヒメボタル

ゲンジボタルの名前の由来は平家に敗れ、無念の最期を遂げた源頼政の思いが亡霊になり螢になって夜空高く飛び舞ったという伝説や、紫式部の『源氏物語』に登場する光源氏にかけたことが由来という説もあるんじゃ。身延町ではゲンジボタル以外にもハイケボタルやヒメボタルも見られて、光り方も少し違うんじゃよ。それぞれの特徴や生態を調べるのも面白いかもしれのう。

○ ゲンジボタルの一生

オスとメスは発光によりコミュニケーションをとり、パートナーを見つけたオスは草むらのメスに向かって急降下し交尾を行います。

成虫は5月中旬から6月にかけて発生し、約2週間活動した後生涯を終えます。成虫は餌を食べず、水分のみを摂取し、活動や産卵は幼虫時代に摂った栄養分で行います。飛んでいるのはほとんどオスです。メスは草むらで光っています。曇っていて月明りがなく、蒸し暑くて風のない夜の8時~9時頃に多く見られます。



ゲンジボタルの一生は上図の一年サイクルを基本としておるが、餌が不足して十分成長できなかった幼虫はそのままもう一年、川の中で過ごすこともあるんじゃよ。自然界でより多くの子孫を残していくための本能を感じるのう。ちなみに旧下部町のいくつか地区には今でもホタル保存会などがあって、餌となるカワニナの養殖など保護活動に取り組んでいる方たちもおるんじゃよ。



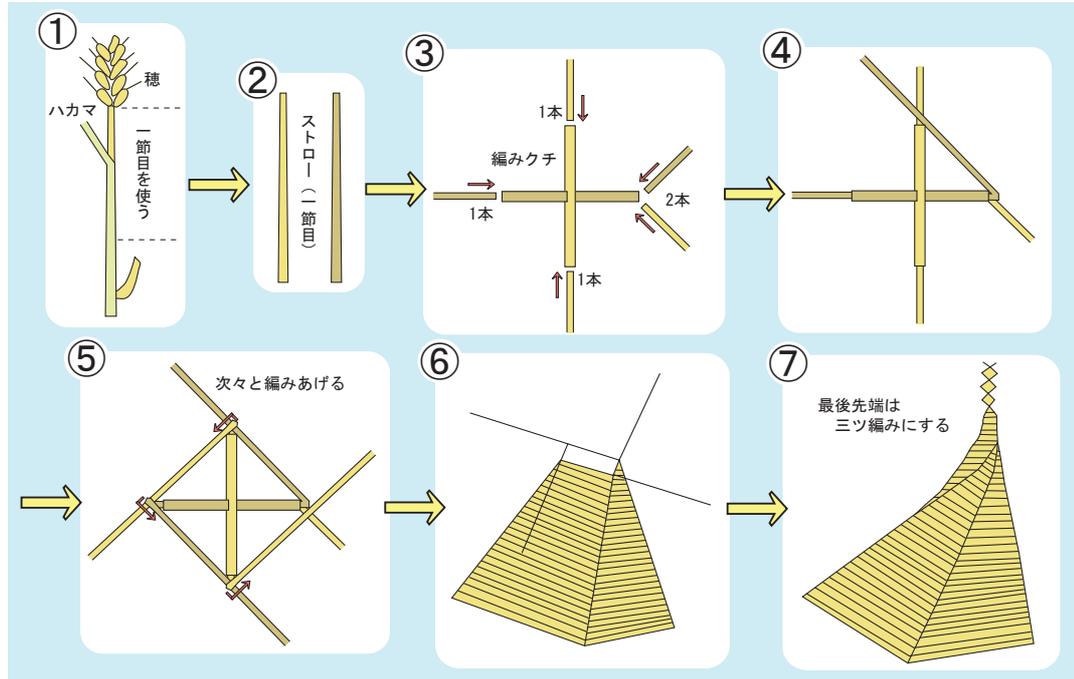
○ ホタルの鑑賞マナー

1. 車のライトはロービーム。(光に当たるとホタルが隠れてしまいます)
2. 懐中電灯でホタルなどを照らさない。
3. フラッシュ撮影禁止。
4. 鑑賞中は禁煙。
5. 近隣住宅付近の私有地への無断立ち入り禁止。

かご ○ ホタル籠の作り方



むかし子どもたちが捕まえたホタルを入れるために麦わらで作った入れ物を「ホタル籠」と言います。麦わらは中が空洞であるという特性から編みやすく、「ホタル籠」のほかにも色々な飾り物に編まれ、農村の伝統工芸品の材料として重宝されました。



①②…一節目のハカマを剥ぎ、麦わらのストローを作り（70～80本）水にさっと入れて水をよく切る。
③…二節目以下の太さのストローを二本用意して編みクチを作り、四方の穴に計五本のストローを差し込む。④⑤…二本差し込んだところから編みクチの先端に折り曲げながら編む。編み続けストローが短くなったら新しいストローを差し込んで継ぎ足していく。⑥⑦…だんだん編んでいくと形が出来上がってくる。内側に編んでいくと先端がせまくなるので、最後は三ツ編みにして完了。

※麦わらは乾燥すると割れやすくなる。適度な湿り気が必要。ただし、水をつけすぎると柔らかくなって編みづらいので注意。

環境省HP 自然共生サイトecojinより



○天然記念物や希少動物の保護って何で必要なの？

1. 地球の宝物：天然記念物に指定された動物は地球に住むいろいろな生き物の中でも特に珍しい存在です。彼らは自然の中で特別な役割を果たしており、地球の生態系（自然のバランス）を保つために重要です。
2. 未来のため：もし希少な動物がいなくなってしまうと、未来の子どもたちはその動物を見ることができなくなります。自然

や動物園の中で、多くの動物を見て学ぶことができなくなってしまうのは悲しいことです。

3. 自然のつながり：すべての動物や植物は、お互いに助け合って生きています。希少動物がいなくなると、そのバランスが崩れて、他の動物や植物にも悪い影響が出る可能性があります。

4. 私たちの責任：人間は、自然を守る責任があります。多くの希少動物が絶滅しそうになっているのは、人間の活動（たとえば、森林伐採や汚染）によるものです。だからこそ、私たちは彼らを守るために努力しなければなりません。

・・・天然記念物や希少動物を守ることは、地球全体を健康に保つためにもとても大切なことです。みんなで協力して豊かな自然を未来につなげましょう。